

八戸市の多彩な魅力を、 食・自然・文化の 3つの視点から ご紹介いたします。

八戸市は、太平洋に臨む青森県南東部に位置しており、なだらかな台地に囲まれた平野が広がり、豊かな水系に恵まれています。漁業が盛んであり、水産都市としてのイメージが強いかもしれません。しかし、工業や商業も盛んで、物流の拠点都市としても大きく発展してきた街です。



日本最大級の朝市「館鼻岸壁朝市」

八戸市といえば、朝市を連想する方も多いのではないでしょうか。「館鼻岸壁朝市」は、約300もの店がずらりと並ぶ日本最大級の朝市です。毎週日曜日には、新鮮な魚介や野菜、八戸グルメを求めて、数万人が足を運び、会場は大いに賑わいます。

また、八戸の夜と言えば、横丁がオススメです。中心街には古くから横丁文化が根付いており、狭い路地に店舗が立ち並ぶ昭和の風情を醸し出す横丁はレトロ感たっぷり。郷土料理や新鮮な魚介類を使った居酒屋メニューなど八戸の食を存分に満喫できます。



昭和を感じる横丁「たぬき小路」



ご当地グルメ「八戸せんべい汁」



魚介の旨味たっぷり「八戸ビヤベース」



こりこりした食感がたまらない新鮮な「イカ刺し」

全国屈指の八戸港に水揚げされるイカやサバなどの極上の海の幸や、冷涼な気候を活かして作られる農畜産物は、八戸市の誇る貴重な地域資源です。八戸地方の郷土料理である「八戸せんべい汁」は、鶏肉や魚の出汁をとった鍋に、おつゆ用込んだ汁物で、もちもちした南部せんべいの食感がたまらないご当地グルメです。また、新しい食の取組として、地元八戸港に水揚げされる新鮮な魚介類の旨味を余すことなく味わえる「八戸ビヤベース」も、近年、若い女性を中心に人気を博しています。